

製品安全データシート (MSDS)

製造者情報 会社 : 応用光研工業株式会社
 所在地 : 〒197-0003 東京都福生市熊川1642番地26号
 担当部門 : 結晶光学部 〒355-0071 埼玉県東松山市大字新郷88-77
 担当者 : 結晶光学部 部長 本多庸郎
 TEL : 0493-23-9515
 FAX : 0493-23-9516
 緊急連絡先 : 結晶光学部 営業課 0493-23-9515
 改訂 : 平成17年8月29日

製品名 弗化バリウム

物質の特定 単一・混合物の区別 : 単一製品
 化学名 : 弗化バリウム Barium Fluoride
 成分及び含有量 : BaF₂ 99%以上
 化学式 : BaF₂
 分子量(式量) : 175.36
 官報公示整理番号 : [化審法] 1-82
 CAS No. : 7787-32-8
 国連分類 : クラス 6.1 (毒物 P.G 3)
 国連番号 : 1564 (その他のバリウム化合物)

危険・有害性 分類の名称 : 急性毒性物質
 有害性 : 皮膚に触れると皮膚の表面が荒れる。
 多量に摂取すると嘔吐、腹痛、下痢等の症状を起
 こすことがある。

応急処置 目に入った場合 : 直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。
 必要に応じ医師の診断を受ける。
 皮膚に付いた場合 : 付着部又は接触部を石鹸水で洗浄し、多量の水を
 用いて洗い流す。
 必要に応じ医師の診断を受ける。
 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、うがいをする。
 必要に応じ医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合 : 直ちに多量の水で胃洗浄の後、塩類下剤(硫酸
 ソーダまたは硫酸マグネシウム)を投与し、下剤
 で不溶性バリウム塩に替えて排出させる。
 必要に応じ医師の診断を受ける。

火災時の措置 消 化 方 法 : 不燃性
 消 火 剤 : 不燃性

漏洩時の措置
 ・飛散物は空容器にできるだけ回収する。
 ・回収後は多量の水を用いて洗い流す。
 ・回収作業時には保護具を着用する。

| | | |
|------------------------|-------------|--|
| 取扱い及び 保管上の注意 | 取扱い | : 吸入、接触等を避けるために適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗する。 通風、換気に留意する。 |
| | 保管 | : 高温多湿を避け、冷暗所に密封保管。 地面に直接置かない。 |
| 暴露防止措置 | 許容濃度 | : 日本産業衛生学会…該当なし ACGIH…バリウム水溶性化合物として TWA 0.5mg (Ba)/m ³ フッ化物としてTWA 2.5mg (F)/m ³ OSHA PEL…TWA 0.5mg (Ba)/m ³ |
| | 設備対策 保護具 | : 換気設備、洗浄設備を作業所に設ける。 呼吸用保護具 : 防塵マスク等 保護眼鏡 : 安全眼鏡等 保護手袋 : ゴム手袋等 |
| 物理/化学的 性質 | 外観 | : 白色の粉末状固体 |
| | 融点 | : 1280°C |
| | 沸点 | : 2260°C |
| | 比重 | : 4.828 |
| | 比重 | : 0.9~1.1 |
| | pH | : 7.5~8.5 (1%懸濁液) |
| | 吸湿性 | : なし |
| | 溶解度 | : 水 0.159g/100g(0°C) 0.162g/100g(30°C) |
| 危険性情報 (安定性・ 反応性) | 引火点 | : 不燃性 |
| | 爆発限界 | : 不燃性 |
| | 発火点 | : 不燃性 |
| | 可燃性 | : なし |
| | 発火性 | : なし |
| | 酸化性 | : なし |
| | 自己反応・爆発性 | : なし |
| | 粉塵爆発性 | : なし |
| | 安定性・反応性 | : 強熱または酸と接触するとフッ化水素ガスを発生する。 |
| 有害性情報 | 刺激性(皮膚・眼) | : 鼻、喉、気管支、肺等の粘膜を刺激し炎症を起こすことがある。 |
| | 急性毒性 | : 人間 飲下すと嘔吐、激しい下痢、致死量 800mg ラット(経口) LD ₅₀ 250mg/kg マウス(腹腔) LD ₅₀ 29.91mg/kg モルモット(経口) LD ₅₀ 350mg/kg |
| 環境影響情報 | | : 知見なし |

| | |
|--------|---|
| 廃棄上の注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・水に懸濁した後、毒物及び劇物取締法の廃棄方法に関する基準「バリウム化合物不溶性の物-1」に準じて廃棄する。 ・その他「取扱い及び保管上の注意」及び「漏洩時の措置」の項参照。 ・その他専門業者に委託、もしくは場合によっては当社引き取り。 |
| 輸送上の注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・容器が破損しないよう適切な措置を行う。 ・その他「取扱い及び保管上の注意」及び「漏洩時の措置」の項参照。 |
| 適用法令 | <ul style="list-style-type: none"> ・毒劇物取締法 第2条劇物 ・危規則 第3条告示別表第4毒物 ・航空法 施行規則第194条告示別表第9毒物 ・港則法 施行規則第12条危険物（毒物） |
| その他 | <p>引用文献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毒劇物基準関係通知集 改訂増補版 厚生省薬務局安全課監修 薬務公報社/1991 ・「製品安全データシートの作成指針」 (社)日本化学工業協会/1992 ・「主要化学品1000種毒性データ特別調査レポート」 海外技術資料研究所/1973 ・新産業中毒マニュアル 牛尾耕一監訳 日本メディカルセンター/1978 ・「11691の化学商品」 化学工業日報社/1991 ・「12695の化学商品」 化学工業日報社/1995 ・Sax's Dangerous Properties of Industrial Materials 8th ed. Richard J. Lewis, SR. 編 Van Nostrand Reinhold/1989 ・許容濃度等の勧告 日本産業衛生学会/1992 ・ACGIH(1997年度用) (社)日本作業環境測定協会/1997 ・「既存化学物質データ要覧」 海外技術資料研究所/1974 ・「化学大事典」 化学大辞典編集委員会/1964 |

- (注)
- ・本MSDS記載内容のうち含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではありません。
 - ・本MSDSは原料等での粉末状態を前提としており、当社製品はこれを溶融後結晶化させたものです。したがって通常の取扱いの上では皮膚への付着や目に入る等、また作業環境を汚染するようなことはございません。
 - ・注意事項等は通常の取扱いを対象としたもので、特殊なお取扱いの場合にはご配慮をお願いします。
 - ・危険性有害性情報等の評価は必ずしも十分とは言えないので、物性についてはご理解いただいた上で、お取扱いにはご注意下さいますようお願いします。